

第 1 編 バリアフリー全般事項

第 4 章 杉並区内の関連事業者の取り組み

第4章 杉並区内の関連事業者の取り組み

4-1 関連事業者の取り組み

杉並区内の各関連事業者の取り組みについて、次頁以降に記載します。

ここでは、杉並区に係わる公共交通事業者(鉄道事業者・バス事業者)・交通管理者(杉並・高井戸・荻窪の三警察署)・道路管理者(都道：東京都建設局・区道：杉並区都市整備部土木担当)のバリアフリー対策の全体的な取り組み状況の概要や課題を記載するとともに、「杉並区都市整備部土木担当」が所管する「放置自転車対策」「交通安全の推進」「区立公園」「公衆便所」の取り組みや、バリアフリー対策における課題も併せて記載します。

表：杉並区内の関連事業者

番号	区分	事業者名
1	鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社
2	鉄道事業者	京王電鉄株式会社
3	鉄道事業者	帝都高速度交通営団
4	鉄道事業者	西武鉄道株式会社
5	バス事業者	関東バス株式会社
6	バス事業者	京王電鉄バス株式会社
7	バス事業者	西武バス株式会社
8	バス事業者	小田急バス株式会社
9	バス事業者	国際興業株式会社
10	バス事業者	東京都交通局
11	交通管理者	警視庁杉並警察署・高井戸警察署・荻窪警察署
12	都道管理者	東京都建設局第三建設事務所
13	区道管理者	杉並区都市整備部土木担当

番号	1	2
種別	鉄道事業者	鉄道事業者
事業者名	東日本旅客鉄道株式会社 【中央線(快速、緩行線)】	京王電鉄株式会社 【京王線・井の頭線】
全体的な取り組み	平成22年までに交通バリアフリー法対象駅の全てのホームにエレベーターを設置することを目標とする。 平成17年までに、利用人員の多い駅等にエレベーター・エスカレーターを重点的に整備する。 駅では車椅子の利用者には必ず係員が付き添い、乗降時に介助を行っている。	駅の昇降施設はエレベーターの設置を基本に進めている。今年度は笹塚駅等4駅にエレベーターを設置するほか、他の既存設備についても移動円滑化基準への対応工事を実施する。昇降施設については、設置可能な駅の多くには何らかの設備を設置しているが、エレベーターを設置するには駅舎の大規模改良が必要となる駅も多いため、国・自治体と協議の上エレベーターの整備を進めている。
バリアフリー対応車両実績	快速線：未導入 緩行線：58編成導入(全編成導入済み) 東西線乗入れ：7編成導入(全編成導入済み)	京王線：一部導入 ・移動円滑化基準に適合した編成 32編成/120編成 ・車椅子スペースのある編成 49編成/120編成 井の頭線：一部導入 ・移動円滑化基準に適合した編成 1編成/29編成 ・車椅子スペースのある編成 11編成/29編成
バリアフリー対応車両計画	快速線：導入予定(期間・両数未定) 緩行線：全編成導入済み 東西線乗入れ：全編成導入済み	平成14年度以降に導入する京王線9000系・井の頭線1000系車両は、移動円滑化基準に適合した車両とするほか、既存の車両についても車椅子スペース・車内電光案内表示等の設置を順次進めていく予定である。
バリアフリー施策における課題等	バリアフリー施設整備に当たっては、国及び地方自治体による補助制度の活用を含め計画的に進める。 古く狭あいな駅が多いため、昇降機の設置スペースの確保が難しい。昇降機の選定の他に人工地盤や掘削工法による新設通路設置等も検討し整備を進める。	バリアフリー施設整備にあたっては、補助制度を活用して計画的に進めているが、用地が狭いため狭あいな駅が多く昇降機等の設置スペースの確保が難しい。
広報・啓発活動	ホームページにて、各駅の構造や施設の概要を示す駅構内マップを掲載している。	ホームページにて、各駅の構造や施設の概要を示す駅構内マップを掲載している。
社内研修等	バリアフリー介助研修 【本社研修：JR東日本総合研修センター】 駅構内やホームにおいてお客様に対応する駅社員のサービス向上を図ることを目的として、入社2年目の若手社員約200名に机上講義や手話講座、車椅子介添え方法実習を行っている。 バリアフリー研修 【東京支社研修：東京支社研修センター】 バリアフリーの意義・重要性を認識し、ハンディキャップのある方への対応方法を体験することを目的として、駅業務に従事する若手・管理職社員・サービスマネージャー(94人)に車椅子利用者である講師からの鉄道利用についての講義、車椅子利用・目や耳の不自由な方へのサポートの仕方、車椅子介添え方法実習等を行っている。 同様の研修を本年時以降も開催するとともに、研修対象を拡大していく。	車椅子、視聴覚障害者・高齢者などの疑似体験用具を用いて階段や列車の乗降時及び駅構内での移動時の疑似体験や介助方法などの訓練を実施している。

番号	3	4
種別	鉄道事業者	鉄道事業者
事業者名	帝都高速度交通営団 〔丸ノ内線・分岐線〕	西武鉄道株式会社〔新宿線〕
全体的な 取り組み	<p>交通バリアフリー法に基づき、全168駅を対象に各ホームから地上までの、エスカレーター・スロープによる1経路整備及びエスカレーターによる1経路整備を目標に整備を行っている。また、エレベーター・エスカレーターの整備が当面できない場合には、代替設備として階段昇降機を設備する。</p> <p>平成15年7月末現在の整備状況は、エレベーター108駅187基、エスカレーター137駅841基、階段昇降機31駅57基設置済。</p>	<p>交通バリアフリー法による「移動円滑化の促進に関する基本方針」により、国や自治体の協力のもと、駅のバリアフリー化を目指している。</p> <p>昇降機設置に当たっては、エレベーター設置を優先し、エスカレーターは設置スペースや乗降客数を勘案して設置している。</p> <p>多目的トイレの設置や視覚障害者誘導ブロックの整備等の、昇降機設置と同時に実施している。</p>
バリアフリー 対応車両 実績	<p>丸ノ内線：導入済み ・移動円滑化基準に適合した編成 53編成/53編成 ・車椅子スペースがある編成 43編成/53編成</p>	<p>全路線：一部導入 ・移動円滑化基準に適合した編成 41編成/211編成 ・車椅子スペースのある編成 56編成/211編成</p>
バリアフリー 対応車両 計画	<p>車椅子スペースがない編成(10編成)：車椅子スペースはないが、車内における視覚的情報装置、車内外における扉開閉時の聴覚的情報装置、車内における次駅表示装置、車いす対応の乗降口が設置された車両。</p>	
バリアフリー 施策におけ る課題等	<p>駅の状況により、昇降機の設置スペース及び地上の確保が難しい。</p>	<p>施設の構造上昇降機設置に多額の費用が見込まれる駅が未設置である。一方、国等の補助金が財政難により厳しくなっており、また、設置後も維持管理費や老朽化による更新費用が高むが、バリアフリー化に向けて努力していきたい。</p>
広報・啓発 活動	<p>交通バリアフリー法施行1周年を記念して「メトロニュースの特別号」を発行し、各駅で配布。 平成13年11月「バリアフリー特集号」平成14年11月「バリアフリー便利帳」を各30万部作成し、無料で各駅で配布した。内容は各駅のバリアフリー施設の整備状況及び主な駅の駅構内略図を掲載。</p> <p>ホームページにて、各駅の構造や施設の概要を示す駅構内マップを掲載している。</p>	<p>ホームページにて、各駅の構造や施設の概要を示す駅構内マップを掲載している。</p>
社内研修等	<p>超高齢者社会の到来かつ多様化するニーズに対応し、高齢者・障害者が安全かつ円滑・快適に交通機関を利用できるよう、高齢者・障害者等の移動などを援助するために必要な知識や技術を取得したマンパワーの養成を図ることを目的として、各区接遇トレーナーを対象に、高齢者・障害者に対する接遇・介助研修及び視覚障害・車椅子体験等を実施している。</p>	<p>障害者・高齢者の方への接客研修は、各駅で定期的に行われる駅員・乗務員教育の場である「月例研修」の中で、それぞれの駅・事務所で不定期に実施している。その際、社員の教育資料として、運輸部営業課で作成した身体の不自由なお客様・高齢者のお客様にどのように接すればよいか、その指針をまとめたマニュアル的な冊子を使用している。</p>

番号	5	6																								
種別	バス事業者	バス事業者																								
事業者名	関東バス株式会社	京王電鉄バス株式会社																								
全体的な取り組み	車両については、平成8年からワンステップ車両の導入、平成11年度からノンステップ車両の導入を開始しており、以後代替についてはノンステップ車両の導入を行っている。	今後、導入するバスは全てノンステップバスとする。																								
バリアフリー対応車両実績	<p>杉並区内に關係する路線の運行車両数 (平成15年1月現在)</p> <p>全車両数 371台 内 ノンステップ車両数 49台 杉並区内に關係する車両数 197台 内 ノンステップ車両 39台</p> <p>バリアフリー対応車の運行時分を時刻表に表示した路線と、バリアフリー対応車の運行が配車状況により変化する路線がある。</p>	平成14年度末、京王電鉄バス・京王バスおよび南大沢京王バス3社の車両数683台(京王電鉄バス499台、京王バス137台、南大沢京王バス47台)で、バリアフリー対応車424台(京王電鉄バス297台、京王バス105台、南大沢京王バス22台)で、対応率は62.1%となる。																								
バリアフリー対応車両計画	<p>ノンステップ車両の導入計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>総車両数</th> <th>ノンステップ車両数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14年</td> <td>371台</td> <td>84台</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>15年</td> <td>371台</td> <td>121台</td> <td>32.6%</td> </tr> <tr> <td>16年</td> <td>371台</td> <td>165台</td> <td>44.5%</td> </tr> <tr> <td>17年</td> <td>371台</td> <td>210台</td> <td>56.6%</td> </tr> <tr> <td>18年</td> <td>371台</td> <td>265台</td> <td>71.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	総車両数	ノンステップ車両数	割合	14年	371台	84台	22.6%	15年	371台	121台	32.6%	16年	371台	165台	44.5%	17年	371台	210台	56.6%	18年	371台	265台	71.4%	平成15年度は代替、増車両をあわせノンステップ車両を80台導入する。平成18年度には、バリアフリー対応率100%を目標に努力する。
年度	総車両数	ノンステップ車両数	割合																							
14年	371台	84台	22.6%																							
15年	371台	121台	32.6%																							
16年	371台	165台	44.5%																							
17年	371台	210台	56.6%																							
18年	371台	265台	71.4%																							
バリアフリー施策における課題等	<p>停留所等の状況により車椅子乗降用スペースの確保が出来ていないため、ノンステップバスが運行しているのに一部の停留所しか活用されない場合がある。</p> <p>車椅子の乗降には通常より多くの時間が費やされるので、健常者や車外の方々の理解をさらに深める必要がある。</p>	ノンステップバスは歩道が設置された道路には有効であるが、設置されていない道路ではスロープ板の傾斜がきつくなり、かえって乗車が厳しくなる。																								
広報・啓発活動	-	-																								
社内研修等	高齢者や障害のある方の乗車を想定し、高齢者の身体的な動き、視力等を疑似体験できる専用装具の装着や車椅子乗車を体験させる研修を実施している。	<p>乗務員教育 「常にお客様が主役です。」を合い言葉に、接客教育の徹底と車椅子の対応を体験させ、スロープ版の取扱も指導する。</p> <p>バリアフリー体験 耳栓や特殊眼鏡、手足に錘などを装着して高齢者並(75～80歳)に身体機能を低下させ、バス乗降を体験する。</p>																								

番号	7	8																										
種別	バス事業者	バス事業者																										
事業者名	西武バス株式会社	小田急バス株式会社																										
全体的な取り組み	<p>車内停留所表示機を全車両に設置済み。 行き先表示のLED(電光式)化を約30%達成。 特別区のLED導入率は約60%。 バスロケーションシステム は大宮地区で実施している。東京都では多摩地区での導入を検討している。 阿佐ヶ谷駅～長久保間系統は全車両ノンステップ車で運行。 その他杉並管内の系統のノンステップ車両導入率は約22%である。</p>	<p>福祉・高齢化時代における路線バスの大きな役割として、地域に密着したドア・トゥ・ドアのきめ細かい輸送サービスが必要と考える。そのことにより、高齢者や障害者等の交通弱者が積極的に社会参加できる環境整備を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバスの積極的な導入 ・LED式方向幕の積極的導入 ・停留所名表示機、音声合成装置の積極的導入 ・バスロケーションシステム の拡大 																										
バリアフリー対応車両実績	<p>平成15年7月末現在のバリアフリー対応車量の導入状況は333台(全車753台)で44.2%である。内、特別区乗合車両は以下の通り。</p> <p>・特別区乗合保有車両 162台(高速車両を除く)</p> <table border="1"> <tr> <td>ノンステップ</td> <td>37台</td> <td>22.8%</td> </tr> <tr> <td>ワンステップ</td> <td>18台</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>リフト付</td> <td>5台</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>60台</td> <td>37.0%</td> </tr> </table>	ノンステップ	37台	22.8%	ワンステップ	18台	11.1%	リフト付	5台	3.1%	合計	60台	37.0%	<p>バリアフリー対応全車数は、以下の通り。</p> <table border="1"> <tr> <td>ノンステップ</td> <td>96台</td> </tr> <tr> <td>ワンステップ</td> <td>30台</td> </tr> <tr> <td>LED方向幕取付車</td> <td>97台(電光式)</td> </tr> <tr> <td>リフト取付車</td> <td>12台</td> </tr> <tr> <td>スロープ板取付車</td> <td>104台</td> </tr> <tr> <td>ニーリング取付車</td> <td>124台(車両床の高さを下げられる装置)</td> </tr> <tr> <td>停留所名表示機取付車</td> <td>328台(車内で次の停留所を案内表示する)</td> </tr> </table> <p>杉並区内に關係する路線では、6台の運行車両数(平成15年1月現在)である。 杉並区内を運行する「宿44:武蔵境駅南口～新宿駅西口」は全ての車両がバリアフリー対応となっている。 「成02:成城学園前駅北口～下本宿」は一部導入。 (定時性については、配車状況により変化する)</p>	ノンステップ	96台	ワンステップ	30台	LED方向幕取付車	97台(電光式)	リフト取付車	12台	スロープ板取付車	104台	ニーリング取付車	124台(車両床の高さを下げられる装置)	停留所名表示機取付車	328台(車内で次の停留所を案内表示する)
ノンステップ	37台	22.8%																										
ワンステップ	18台	11.1%																										
リフト付	5台	3.1%																										
合計	60台	37.0%																										
ノンステップ	96台																											
ワンステップ	30台																											
LED方向幕取付車	97台(電光式)																											
リフト取付車	12台																											
スロープ板取付車	104台																											
ニーリング取付車	124台(車両床の高さを下げられる装置)																											
停留所名表示機取付車	328台(車内で次の停留所を案内表示する)																											
バリアフリー対応車両計画	<p>平成15年度にはバリアフリー対応車両を61台導入予定。</p> <p>平成22年までにノンステップ車両の導入比率を25%以上としていく。</p> <p>今後もLEDを積極的に導入。</p>	<p>車両更新時及び増車時にノンステップ車両等の積極的導入。</p>																										
バリアフリー施策における課題等	<p>道路幅員や構造(歩道設置等)により、バリアフリー対応車を有効に活用できない。</p> <p>ラッシュ時における輸送量の減少。(バリアフリー対応車は構造上定員が少ない)</p>	-																										
広報・啓発活動	-	-																										
社内研修等	<p>疑似体験セットの活用や小集団活動でのスロープ取扱訓練等による、社員教育の実施。</p>	<p>1班を8人程度で組織した班会議(小集団活動)を月1回程度実施している他、各種運動期間(全国交通安全運動や当社独自の取り組みをする運動など)に講習会を開催している。また、全社員対象の研修を年1回程度開催するとともに個人指導を随時実施している。 接客・運転操作をチェックするモニター制度の導入をしている。</p>																										

バスロケーションシステム:バスと停留所をGPS(デジタル通信)で接続し、利用したいバスがいつ来るかを確認できるシステム。

平成15年7月末現在

番号	9	10
種別	バス事業者	バス事業者
事業者名	国際興業株式会社	東京都交通局〔都営バス〕
全体的な取り組み	<p>バリアフリー対応車の導入 乗車扉開閉時の車外放送による行き先案内 車内停留所表示機の設置 乗りやすい停留所施設への改善 見やすい行き先案内(LED化)</p>	<p>東京都は「福祉のまちづくり」を推進し、「やさしいまち東京」の実現を目指している。 バリアフリー対応車両479台(平成14年度171台導入予定) 車内音声・停留所表示機により、停留所名等の案内 停留所に、ベンチや上屋等の設置 運行面からは、違法駐車排除や駅ターミナル、歩道等の整備など、関係機関との調整の継続等</p>
バリアフリー対応車両実績	<p>全車両(乗合バス全車両 827台中) ノンステップバス 80台 ワンステップバス 219台 LED方向幕車 173台(電光式) リフト付き車 18台 車外放送装置、停留所名表示機は全車装備。 杉並区関係系統は赤31赤羽駅東口～高円寺駅、赤31-2赤羽車庫～高円寺駅の2系統であり、赤羽営業所が運行を担当 赤羽営業所の配置車両数 78台中 スロープ板付ノンステップバス 6台 リフト付ワンステップバス 2台 スロープ板付ワンステップバス 17台 バリアフリー対応車走行定時性については、配車状況により変化する。</p>	<p>総バリアフリー対応車両数は479台である。 杉並区内では、ノンステップバス「渋66系統 4台」、「玉78系統 1台」、「宿91系統 1台」運行中。</p>
バリアフリー対応車両計画	<p>平成14年度導入計画 ノンステップ車 37台 ワンステップ車 58台 LED方向幕取付車 88台(電光式) 平成15年度導入計画 新車 65台 (内、ノンステップバス10台以上、他はワンステップバス) 全車LED行先表示車の予定。</p>	<p>平成15年度には、都営バス全体で、ノンステップバスを171台導入予定である。</p>
バリアフリー施策における課題等	<p>一般車両との価格差 ラッシュ時における輸送量の対応</p>	-
広報・啓発活動	-	-
社内研修等	<p>高齢者疑似体験を平成14年11月21日に実施した。本研修は今後も随時実施の予定。 新入社員研修、特別研修、事故防止運動時の講習等、機会に応じて研修を実施する。</p>	<p>社内研修は、入局時及びその後職場内研修を1年に1回実施している。今年度は、平成14年12月9日から平成15年2月27日の間、サービス向上研修を実施(車椅子介助研修等を含む)。</p>

番号	11				
種別	交通管理者				
事業者名	警視庁杉並警察署・高井戸警察署・荻窪警察署				
全体的な取り組み	音声信号機、弱者対応型感应式信号機の設置等 捨て看板、ポスター類の撤去を実施し良好な見通しの確保により、交通弱者等の安全の確保を図る。 商店等の商品台、商品等の道路不正使用の指導取締りと放置自転車、バイクの指導取締りを恒常的に実施し、交通弱者等の安全確保を図る。				
バリアフリー対応信号機実績・計画	位置			信号機等施策	管轄
	箇所	道路通称名	名称		
	桃井4-4先	青梅街道	桃井四丁目交差点	盲人用音声・弱者感应式信号機	荻窪
	西荻北3-1先	区道(バス通り)	西荻駅前交差点	盲人用音声信号機	荻窪
	上荻1-6先	青梅街道	荻窪駅前交差点	盲人用音声信号機	荻窪
	桃井1-5先	青梅街道	八丁交差点	盲人用音声信号機	荻窪
	上荻1-4先	青梅街道	天沼八幡交差点	盲人用音声・弱者感应式信号機	荻窪
	南荻窪4-40先	環状八号線	東電荻窪支社	盲人用音声・弱者感应式信号機	荻窪
	桃井1-3先	青梅街道	桃井一丁目横断路	盲人用音声信号機	荻窪
	荻窪2-3先	環状八号線	川南交差点	盲人用音声信号機	荻窪
	荻窪4-33先	青梅街道	天沼陸橋南交差点	盲人用音声信号機	荻窪
	阿佐ヶ谷南3-36先	中杉通り	阿佐ヶ谷駅前横断路	盲人用音声信号機	杉並
	阿佐ヶ谷南1-48先	中杉通り	阿佐ヶ谷駅前第二横断路	盲人用音声信号機	杉並
	高円寺南4-47	高南通り	高円寺駅北ガード下	盲人用音声信号機	杉並
	宮前4-31先	井の頭通り	西高等学校入口交差点	盲人用音声信号機	高井戸
	久我山3-8先	五日市街道	宮前三丁目交差点	盲人用音声信号機	高井戸
	久我山3-25先	人見街道	久我山駅前横断路	盲人用音声信号機	高井戸
	久我山1-7先	区道	久我山一丁目交差点	盲人用音声信号機	高井戸
	宮前4-16先	井の頭通り	宮前五丁目第三横断路	盲人用音声信号機	高井戸
	高井戸東2-25先	環状八号線	高井戸駅南横断路	盲人用音声信号機	高井戸
	浜田山3-35先	井の頭通り	浜田山駅入口交差点	盲人用音声・弱者感应式信号機	高井戸
	下高井戸3-12先	一般都道	下高井戸公園前交差点	盲人用音声信号機	高井戸
	下高井戸2-22先	一般都道	永福南小学校前横断路	盲人用音声信号機	高井戸
	成田東5-42先	青梅街道・中杉通り	杉並区役所前交差点	盲人用音声信号機	杉並
	阿佐ヶ谷南1-39先	中杉通り	阿佐ヶ谷南一丁目横断路	盲人用音声信号機	杉並
	高円寺南2-20先	青梅街道	新高円寺駅前交差点	盲人用音声信号機	杉並
	高円寺南1-11先	環状七号線・青梅街道	高円寺陸橋下交差点	盲人用音声信号機	杉並
堀之内2-11先	環状七号線	大聖堂入口交差点	盲人用音声信号機	杉並	
バリアフリー施策における課題等	信号機設置関係は、東京都全体で実施しているため、各署独自に設置できない。				
広報・啓発活動	各期交通安全運動 暴走族追放強化月間				
社内研修等	署員に対する交通弱者保護教育は機会ある毎に実施				

番号	12	13		
種別	都道管理者	区道管理者		
事業者名	東京都建設局第三建設事務所	杉並区都市整備部土木担当		
全体的な取り組み	東京都として「東京都福祉のまちづくり条例」を制定し、それに基づき各部署が「全ての人が基本的人権を尊重され、自由に社会参加できるやさしいまち東京」を目指している。	道路全般	放置自転車対策	公園
		道路における改修に当たっては、国土交通省「道路の移動円滑化ガイドライン」「東京都福祉のまちづくり条例：施設整備マニュアル」「特別区協議会：道路工事設計基準」に基づきバリアフリー化を進めていく。視覚障害者が道路を通行する際の補助となる視覚障害者誘導用ブロックを設置。また、老朽化した施設を改修・改良することにより、視覚障害者の安全と円滑な移動を図る。	「自転車のまちづくり」を目指して「杉並区サイクルアクションプログラム」を平成14年7月に策定した。この中で、通行や災害時の救助活動の妨げとなる放置自転車の削減目標や自転車駐車場の整備目標を明示した。 放置自転車の台数(平成13年度に1日平均9,023台の放置自転車に対して) 平成15年度末までに 15%減 平成16年度末までに 30%減 平成17年度末までに 50%減 自転車駐車場の整備率(平成19年度末整備目標台数32,000台に対して) 平成15年度末までに 85% 平成16年度末までに 90% 平成17年度末までに 95%	区立公園、児童遊園等におけるバリアフリーの取り組みは20年ほど前より行っているが、区立公園等の規模が小さいために地域の子供の利用が中心である。こうしたことから、出入口の段差解消、車椅子対応型水飲み、トイレ(手すりの設置)が主である。 公衆トイレは、改修と併せ可能な限り「だれでもトイレ」の設置を進めている。
バリアフリー対策の実績	新設する道路は、「東京都福祉のまちづくり条例」に基づき整備を行っている。	歩車道を分離した区道については、1981年の「国際障害者年」までに交差点、横断歩道設置箇所の切り下げを完了した。しかし、「道路の移動円滑化ガイドライン」等の基準には適合しない箇所もあり、調査・改修が必要となった。平成14年度は、永福3丁目地区内の区道160mについて歩道の段差改良を行った。 久我山盲学校の要望により、久我山駅から通学路に視覚障害者誘導用ブロックを295m設置した。 杉並盲人会館へのアクセスとして、JR荻窪駅から「すずらん通り」内に視覚障害者誘導用ブロックを230m設置した。 他の箇所において、老朽化したブロックや基準に適合しない箇所の改良を行った。 地元町会等の要望に基づき、歩行者通行の安全を確保するため路側帯に滑り止めカラー舗装を505.7m ² (大宮11-4先)行った。	放置自転車の撤去 ・年間約60,000台の放置自転車の撤去を毎年繰り返している。 自転車駐車場の整備 ・平成14年度末現在、有料制自転車駐車場を33箇所21,528台整備している。	現在、区立公園は約292箇所開設しており、高台にあるなどの特殊な立地場所を除き、スロープの設置など入口の段差解消を終えている。また、201箇所の公園トイレについても手すり設置を終えている。 17箇所開設している公衆トイレは、手すりの設置の他、「だれでもトイレ」を9箇所併設している。
バリアフリー対策の計画	維持補修等の工事施工に際しては、現地調査の上、段差の解消・勾配の改修・視覚障害者ブロックの設置改良を行っている。	平成15年には、14年度に引き続き永福3丁目地区内の区道360mについて歩道の段差改良を行う。その他に、平成15年度より17年度までの3年間で30箇所の段差改良を行う。また、道路の老朽化に伴う改良や適切な維持管理を計画的に進めていく。さらに、要望等について、可能な範囲で改善に向けて対応していく。	自転車駐車場の整備を進めるとともに、放置の防止・自転車利用のルールへの周知やマナーの向上を図るためサイクルアクションプログラムを推進し、平成17年度末には放置自転車数の半減を目指す。 自転車駐車場の整備 ・15年度3,548台、16年度2,560台、17年度990台の自転車駐車場を整備する。 放置防止協力員の充実 ・「放置防止協力員」は自転車を放置しないように呼びかけを行うボランティア制度である。駅周辺の自治会・商店街・町会の方々に働きかけ「放置防止協力員」の活動する駅数を増やしていく。15年度8駅、16年度10駅、17年度12駅 自転車集積所の設置 ・放置自転車の撤去を強化するためには保管場所の確保が必要であるため、集積所を増加していく。 15年度830台、17年度2,000台	-
バリアフリー施策における課題等	-	既存道路のバリアフリー化には、取り付け道路や隣接建物の入口との取り合わせに苦労している。 視覚障害者誘導用ブロック設置後、ブロック上に自転車やのみ出し商品などが多数有り利用上支障がある。その対応に苦慮している。 ガードレール設置に当たっては、道路幅員が狭いため十分な歩道幅が取れず整備できないケースが多くある。	放置自転車を減らすためには、自転車駐車場を整備するだけでは効果がない。自転車利用者に放置しないように呼びかける事や自転車の撤去を強化する必要がある。放置自転車がバリアフリーの障害要因になっているが、自転車利用者が認識しなければ放置自転車は無くならない。	今後、公園等の遊具を誰もが利用可能な物へ転換していく事が求められていると考えている。一方、トイレについては、多発する犯罪や路上生活者を始めとした防犯上の問題から、だれでもトイレの設置が困難となってきている。
広報・啓発活動	-	交通安全運動等推進(啓発・啓蒙・警察等との連携など) ・杉並区では、交通安全運動の推進として区単独または警察等と連携をして、以下の活動を行っている。(平成14年度) 4月 ・春の交通安全運動(6日～15日) 5月～7月 ・交通安全教室 7月 ・暴走族追放強化月間(1日～30日) ・夏期における交通安全啓発 9月 ・杉並区交通安全の集い ・秋の交通安全運動(21日～30日) 10月 ・交通安全教室 11月 ・交通安全教室 ・中学生交通安全標語対象 12月 ・冬期における啓発 ・年末交通安全キャンペーン 2月 ・交通安全キャンペーン(モデル地区)	放置自転車対策 ・杉並区では、放置自転車対策として区単独または警察等と連携をして、以下のキャンペーン等を行っている。 <平成14年度実績> 駅周辺自転車放置防止キャンペーンの実施 ・実施箇所：浜田山駅外12箇所 ・実施期間：平成14年3月27日～平成14年4月12日(浜田山駅周辺) - - - - - この間11箇所実施 - - - - - 平成15年2月17日～平成15年2月21日(西荻窪駅) ・実施内容：早朝指導・啓発・撤去等 ・参加団体等：地元区民・警察署・協力員・区職員等(延べ905名) 第19回駅前放置自転車クリーンキャンペーンの実施 ・実施箇所：阿佐ヶ谷駅外7箇所 ・実施期間：平成14年10月22日～平成14年10月31日(8日間) ・実施内容：早朝指導・啓発・撤去等 ・参加団体等：地元小学生・教師・PTA・協力員・駅務員・区職員等(延べ656名)	「花咲かせ隊」の実施 ・区では、区民と区の協働により、身近な公園をより親しみある物とするため、5人以上の区民による団体が区立公園の花壇づくりを行っている。平成14年度は 53団体が参加し、平成15年度は約80団体の参加を予定している。
研修・点検等	第三建設事務所では、平成12年度より、職員自ら管内の都道を年2回4ブロックに分け、徒歩による点検を行っている。	タウンウォッチング ・杉並区では、全ての区民が安心して健やかに生活出来る「健康都市杉並」の実現に向け、区民とともに安全で快適な都市基盤を整備していくために、区民参画によるタウンウォッチングを実施し、その結果を今後の福祉のまちづくり事業や計画に反映させるために、平成13年7月6日にJR西荻窪駅周辺において「プレタウンウォッチング」を、平成13年10月6日にJR高円寺駅周辺で「タウンウォッチング」を実施した。それぞれ、高齢者、身体障害者を中心に総勢約70名が参加した。	-	-

4-2 各駅の取り組み

杉並区内の各駅の取り組みについて、次頁以降に記載します。

ここでは、区内各駅及び各駅周辺ごとの、各事業者におけるバリアフリーに関する現在までの取り組みや今後の予定、関連事項を記載します。

表：杉並区内の鉄道駅

路 線	駅 名
JR線	西荻窪
	荻窪
	阿佐ヶ谷
	高円寺
京王井の頭線	久我山
	富士見ヶ丘
	高井戸
	浜田山
	西永福
	永福町
京王線	八幡山
営団丸ノ内線	荻窪
	南阿佐ヶ谷
	新高円寺
	東高円寺
	方南町
西武新宿線	上井草
	井荻
	下井草

JR西荻窪駅						
駅 現 況	乗 降 客 数	83,490人	ホーム形式	高架 複々線 島式 四線		
	駅 舎 形 式	地上改札口1箇所				
	昇 降 設 備	エスカレーター : 改札~両ホーム共 1基				
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応) : 設置 多 目 的 ト イ レ : 設置 ス ロ ー プ : 設置(南口)(北口は段差無し)				
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅周辺の北側地区には青梅街道の幹線道路や、女子大通りや北銀座通り等のバス路線が通っており、この地域は概ね4m以上の生活道路網が形成されているとともに大部分は一方通行の規制がされ、東京女子大周辺は生活ゾーン規制がされている。しかしJR西荻窪駅周辺の北銀座通りや伏見通りなどにおいて、「交通量が多い」「道路や歩道が狭い」などの指摘がある。</p> <p>南側地区には、東西方向に五日市街道・井の頭通り等の幹線道路があるが、JR西荻窪駅へのアクセス道路となる南北方向の道路は、狭あいな道路となっている。また、バス路線は一方通行の商店街などを通ることとなっており、駅前広場も不足していることから、駅周辺を中心に交通が滞る状況がある。</p> <p>神明通り北側は、概ね4m以上の道路による街区基盤が形成されているが、神明通り南側については、南北方向に長い狭あいな道路が比較的多い。</p>				
	主要な公共施設	西荻地域区民センター、勤労福祉会館、西荻区民事務所、西荻北敬老会館、西荻南区民集会施設等				
	身体障害者 対応信号機 設置箇所	設置箇所	設置道路	交差点名	駅からの距離	信号機種類
		桃井4-4先	青梅街道	桃井四丁目交差点	約950m	盲人用音声・弱者感知式信号機
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	<p>当駅を発着する路線バスは、関東バス(株)と西武バス(株)の2社 9系統(1系統は共同運行)である。</p> <p>そのうち、バリアフリー対応車を導入している系統は4系統である。</p> <p>また、バリアフリー対応車で走行率は関東バス(株)の「西20」・「荻40」系統が概ね30%であり、その他系統も一部走行している。</p>				
	バリアフリー計画	駅 施 設	<p>エレベーター:改札~各ホーム共 1基増設 エスカレーター:途中階~各ホーム共 1基増設 エスカレーター:中 階 段 1基増設 ス ロ ー プ : 既存スロープ改良(勾配:1/12) 平成15年11月完了</p>			
	道 路	駅バス路線の一部を平成15年から歩道の段差解消を行っている。				
	信 号 機					
ま と め	<p>駅舎については、平成15年11月にバリアフリー化された駅舎となった。</p> <p>道路については、歩道未設置路線や歩行者と車両が滞る区間が多く、通行上支障がある道路が多い状況である。</p> <p>しかし、平成15年度から南北道路(バス通り)のバリアフリー化事業が予定されており、駅周辺に関しては改善される。また、駅北口及び青梅街道の勤労福祉センター付近には身体障害者対応信号機が設置され、南北方向のバス通りは歩道が設置されていることから、駅から施設への経路はある程度確保されている。</p> <p>バスについては、バリアフリー対応車の導入系統が約半数にとどまり、また、その走行率も約30%である。今後バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>					

JR 荻窪駅						
駅 現 況	乗 降 客 数	164,852人	ホーム形式	地上 複々線 島式 四線		
	駅 舎 形 式	地下改札口1箇所・橋上改札口1箇所				
	昇 降 設 備	エスカレーター：両ホーム共1基設置				
	そ の 他 の 駅 施 設	改札（バリアフリー対応）： 設置 ス ロ ー プ : 設置				
	南 北 ア ク セ ス	JRと営団丸ノ内線の荻窪駅地下コンコースと南側区道とのアクセスは、階段のほかにもエスカレーターが設置済。				
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅は、区内の駅で最も乗降客数が多く、バス系統の拠点となっている。</p> <p>駅近接の道路は青梅街道、環状八号線、駅南側にある都市計画道路補助第131号線がある。また当駅周辺には日大通り、八丁北通り、荻窪高通り、近衛さん通り等がある。</p> <p>駅南部地区や北東部地区は幅員4m以上の生活道路網が形成されているが、東部については狭い道路が多い。また南部においては、環状八号線の渋滞などにより、通り抜け（通過交通）による車両が進入している。</p> <p>荻窪駅周辺では歩行者・自転車の集中などにより、「交通量が多い」「道路や歩道が狭い」などの指摘がある。</p> <p>杉並盲人会館へのアクセスとして、JR荻窪駅からすずらん通りに視覚障害者誘導用ブロックが、230m設置されている。</p>				
	主要な公共施設	杉並保健所（荻窪保健センター、在宅介護支援センター含む）、杉並公会堂、西福祉事務所、杉並盲人会館、中央図書館等				
	誰でもトイレ設置箇所 （公衆便所）	設 置 場 所	駅 からの 距 離	公 衆 便 所 名		
		桃井196	約1,100m	桃井公衆便所		
	身体障害者 対応信号機 設置箇所	設 置 箇 所	設 置 道 路	交 差 点 名	駅 からの 距 離	信 号 機 種 類
		上荻16先	青 梅 街 道	荻窪駅前交差点	約70m	盲人用音声信号機
		桃井15先	青 梅 街 道	八丁交差点	約1,050m	盲人用音声信号機
		上荻14先	青 梅 街 道	天沼八幡交差点	約170m	盲人用音声・弱者感応式信号機
南荻窪44先		環 状 八 号 線	東電荻窪支社	約300m	盲人用音声・弱者感応式信号機	
桃井13先		青 梅 街 道	桃井一丁目横断路	約850m	盲人用音声信号機	
荻窪23先		環 状 八 号 線	川南交差点	約920m	盲人用音声信号機	
荻窪433先		青 梅 街 道	天沼陸橋南交差点	約500m	盲人用音声信号機	
駅乗り入れバス路線	<p>当駅を発着する路線バスは、関東バス㈱と西武バス㈱の2社 28系統（2系統は共同運行）である。</p> <p>北口からの発着系統は20系統、南口からの発着系統は8系統である。</p> <p>その内バリアフリー対応車を導入している系統は10系統であり、北口発着の西武バス㈱の「荻15」・「荻16」系統の走行率は100%である。</p> <p>また、北口発着の関東バス㈱「阿05」系統は概ね90%の走行率であり、その他系統は一部走行している。</p>					
バリアフリー計画	駅 施 設	<p>エレベーター：改札～各ホーム共1基 新設予定</p> <p>エスカレーター：改札～各ホーム共1基 増設予定</p> <p>予定期間：未定</p>				
	南北アクセス	<p>南側区道拡幅整備中。</p> <p>平成16年度に南口エレベーターと西口連絡橋が整備される。</p> <p>西口連絡橋は隣接する民間ビルにも連絡し、このビルのエレベーターを利用することで改札から南側へのバリアフリー化が完成する。</p>				
	道 路	<p>都市計画道路補助第131号線整備</p> <p>北口の駅前広場事業計画</p>				

バリアフリー計画	信号機	
ま と め		<p>駅舎については、現在エスカレーターが1基設置されているのみである。当駅は駅舎構造上改札口が地下にあるため、南北口が階段で連絡されエスカレーター（車椅子非対応型）の設置のみにとどまっている。今後エレベーターの設置等が予定されているが、設置時期が未定である。また、これに加え多目的トイレ等が設置されれば、駅舎に関してはバリアフリー化された駅舎となる。</p> <p>道路については北口には幹線道路の青梅街道がある。また南口には都市計画道路補助第131号線があり整備中である。双方に人や車両の通行が多く、また放置自転車等の路上障害物も多く、歩行者の通行に支障をきたしている。今後、北口の駅前広場事業や、南口における平成16年度完了予定の南口エレベーターと西口連絡橋の整備により、バリアフリー対策は向上される。</p> <p>身体障害者対応信号機は、北口の青梅街道や南口の環状八号線横断を中心に設置されており、幹線道路横断については経路の確保はなされている。</p> <p>バスについては、バリアフリー対応車の導入系統が三分の一にとどまり、また、その走行率も系統により約10～100%とばらつきがある。</p> <p>今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>

JR阿佐ヶ谷駅						
駅 現 況	乗 降 客 数	87,488人		ホーム形式	高架 複々線 島式 四線	
	駅 舎 形 式	地上改札口2箇所(内、2F改札口1箇所)				
	昇 降 設 備	エレベーター:改札~各ホーム共 1基 設置 (9人乗り貫通型) エスカレーター:途中階~各ホーム共 2基(上下) エスカレーター:中 階 段 2基(上下)				
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応): 設置 多 目 的 ト イ レ: 設置 ス ロ ー プ : 設置				
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅周辺は南北に中杉通り、東西方向に早稲田通り、青梅街道の幹線道路が走っている。中杉通りの内早稲田通り~青梅街道間がけやき並木の歩道設置道路として整備されている。</p> <p>当駅には南口・北口に駅前広場が整備され、中杉通りによりバス路線などのアクセスがされている。</p> <p>中杉通りの早稲田通り以北や日大通りについては、バス通りとなっているものの幅員が狭いことから、「交通量が多い」「道路や歩道が狭い」などの指摘がある。</p> <p>なお、中杉通りの早稲田通り以北は、現在道路拡幅事業中である。</p>				
	主要な公共施設	杉並区役所、阿佐ヶ谷地域区民センター、消費者センター、産業商工会館、阿佐ヶ谷区民事務所、杉並警察署、都税事務所等				
	誰でもトイレ設置箇所 (公衆便所)	設 置 場 所	駅 からの 距 離	公 衆 便 所 名		
		阿佐谷南3-36-1	約60m	阿佐ヶ谷駅南口公衆便所		
	身体障害者 対応信号機 設置箇所	設 置 箇 所	設 置 道 路	交 差 点 名	駅 からの 距 離	信 号 機 種 類
	阿佐谷南3 36先	中 杉 通 り	阿佐ヶ谷駅前横断路	約20m	盲人用音声信号機	
	阿佐谷南1 48先	中 杉 通 り	阿佐ヶ谷駅前第二横断路	約80m	盲人用音声信号機	
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	<p>当駅を発着する路線バスは、都営バス、関東バス(株)、西武バス(株)、京王電鉄バス(株)の4社10系統(1系統は共同運行)である。</p> <p>そのうち、バリアフリー対応車を導入している系統は8系統である。</p> <p>また、バリアフリー対応車での走行率は、西武バス(株)の「荻15」系統、関東バス(株)の「阿03」系統は100%であり、また、関東バス(株)の「阿04」・「阿05」系統は概ね90%の走行率であり、その他路線では一部走行している。</p>				
バリアフリー計画	駅 施 設	バリアフリー化完了				
	道 路	概ねバリアフリー化されている。				
	信 号 機	概ね設置されている。				
ま と め	<p>駅舎については、バリアフリー化されている。</p> <p>道路については、当該地域は駅舎から主要公共施設への経路は概ね歩道設置がされている。</p> <p>また中杉通りの歩道改修が終わり、阿佐ヶ谷駅から南阿佐ヶ谷駅への経路は概ねバリアフリー化されている。</p> <p>身体障害者対応信号機も、阿佐ヶ谷駅・南阿佐ヶ谷駅周辺に設置されており、両駅間の移動経路は確保されている。</p> <p>バスについては、バリアフリー対応車の導入系統が約80%であり、またその走行率も約70%であり、区内においても高い走行率である。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率はさらに上昇すると考えられる。</p>					

JR高円寺駅						
駅 現 況	乗 降 客 数	99,324人		ホーム形式	高架 複々線 島式 四線	
	駅 舎 形 式	地上改札口1箇所				
	昇 降 設 備	エスカレーター：両ホーム共1基設置				
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応)： 設置 多 目 的 ト イ レ： 設置 ス ロ ー プ： 設置				
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅周辺には南北に環状七号線、東西に早稲田通り、青梅街道の幹線道路が通っている。 JR高円寺駅には南口及び北口に駅前広場が整備されており、高円寺駅北通り、高南通りにより環状七号線、青梅街道等にアクセスするバス路線が形成されている。 環状七号線の慢性的渋滞、高円寺駅北側の幹線道路が未整備など、南北道路の整備が立ち遅れていることから、当駅周辺の生活道路には通過交通が進入し、特に杉六通りを始め、大久保通りなどの主要な生活道路において「交通量が多い」「道路や歩道が狭い」などの指摘がある。</p>				
	主要な公共施設	高円寺南敬老会館、高円寺北敬老会館、高円寺保健センター				
	誰でもトイレ設置箇所 (公衆便所)	設置場所	駅からの距離		公衆便所名	
		高円寺南4 31 7	約290m		高円寺中央公衆便所	
	身体障害者対応信号機 設置箇所	設置箇所	設置道路	交差点名	駅からの距離	信号機種類
	高円寺南4 47先	高南通り	高円寺駅北ガード下	-	盲人用音声信号機	
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	<p>当駅を発着する路線バスは、都営バス、関東バス(株)、京王電鉄バス(株)、国際興業(株)の4社8系統(2系統は共同運行)である。 そのうち、バリアフリー対応車を導入している系統は5系統である。また、バリアフリー車両での走行率は関東バス(株)・京王電鉄バス(株)の共同運行路線「高45」系統は100%である。その他系統は、一部走行している。 また、国際興業(株)の「赤31-2」系統及び関東バス(株)と京王電鉄バス(株)共同運行系統「赤31」は当日の配車状況により、バリアフリー対応車が走行する場合がある。</p>				
バリアフリー計画	駅 施 設	<p>エレベーター：改札～各ホーム共 1基 新設予定 エスカレーター：途中階～各ホーム共 1基 増設予定 エスカレーター：中 階 段 1基 増設予定 多目的トイレ：1箇所 設置予定(既存一変更予定) 予定期間：平成17年度</p>				
	道 路	<p>高南通り：歩道改修等。 補助第226号線：歩道拡幅・電線類の地中化等。 青梅街道・環状七号線：段差・勾配の解消、点字ブロック等の設置。</p>				
	信 号 機	高南通り、補助第226号線、青梅街道等の身体障害者対応信号機等の設置。				
ま と め	<p>駅舎については、現在でも一部バリアフリー化された駅舎である。計画ではエレベーターの設置やエスカレーターの増設が平成17年度で予定されており、それが実施されればバリアフリー化された駅舎となる。</p> <p>道路については、駅舎から主要公共施設へ、高南通り、都市計画道路補助第226号線などがあり、概ね歩道設置がされている。今後、歩道の段差解消や架空線の地中化等が予定されている。</p> <p>また、パル商店街、ルック商店街なども交通規制がされており、桃園川緑道等では歩行者の安全な通行確保がされているなど、概ね移動経路は確保されていると考えられる。</p> <p>身体障害者対応信号機も駅直近に設置されているため、移動経路の課題は凹凸や段差の解消である。</p> <p>高南通り、補助第226号線、青梅街道等には歩道改修・電線類の地中化、段差の解消、身体障害者対応信号機等のバリアフリー施策を行う。</p> <p>バスについては、バリアフリー対応車の導入系統が約半数にとどまりその走行率も約25%である。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>					

京王久我山駅						
駅 現 況	乗 降 客 数	35,818人		ホーム形式	地上 複線 島式 二線	
	駅 舎 形 式	地上改札口1箇所				
	昇 降 設 備	スロープ(別口)				
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応)				
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅周辺の主な道路は人見街道で、バス路線となっている。</p> <p>当駅周辺は南北方向の生活道路はあるものの、鉄道や河川で分断されている。また幹線道路が未整備であり、そのため人見街道や生活道路などには通過交通が進入し、「交通量が多い」「道路や歩道が狭い」などの指摘がある。</p> <p>久我山駅から通学路には、視覚障害者誘導用ブロックが295m設置されている。</p>				
	主要な公共施設	久我山会館、久我山敬老会館等				
	身体障害者 対応信号機 設置箇所	設 置 箇 所	設 置 道 路	交 差 点 名	駅からの距離	信号機種類
		宮 前4 31先	井の頭通り	西高等学校入口交差点	約720m	盲人用音声信号機
		久我山3 8先	五日市街道	宮前三丁目交差点	約870m	盲人用音声信号機
		久我山3 25先	人見街道	久我山駅前横断路	約50m	盲人用音声信号機
久我山1-7先		区 道	久我山一丁目交差点	約670m	盲人用音声信号機	
宮 前4 16先	井の頭通り	宮前五丁目第二横断路	約680m	盲人用音声信号機		
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	<p>当駅を発着する路線バスは、京王電鉄バス(株)の1社 1系統である。</p> <p>この系統のバリアフリー対応車での走行率は約60%である。</p>				
バリアフリー計画	駅 施 設	<p>橋上駅化によるバリアフリー対策 昇降機等(改札内)</p> <p>エレベーター：改札～ホーム 1基 新設 エスカレーター：改札～ホーム 2基 新設</p> <p>その他駅施設 多目的トイレ：1箇所 新設</p>				
	南北アクセス	<p>京王電鉄は久我山駅を橋上駅舎に改修し、北口にはエレベーター、エスカレーターを設置する。南口については、区がエレベーター、エスカレーターを設置する予定。</p> <p>予定期間：平成17年度</p>				
	道 路					
	信 号 機					
ま と め	<p>駅舎については、現在リフト設置とスロープ設置のみであり、バリアフリー化されていない。</p> <p>今後、区との共同の橋上駅化工事によりエレベーターやエスカレーター、多目的トイレの設置が予定されており、実施後、バリアフリー化された駅舎となる。</p> <p>道路については、当該地域は歩道未設置路線や歩行者と車両が輻輳する区間が多く、通行上支障がある道路が多い状況である。</p> <p>身体障害者対応信号機は、人見街道(久我山3 25先)に設置されているが、久我山盲学校への経路は歩車道が分離されておらず、経路としては弱い弱であり、また南北道路の整備等も重要な課題である。</p> <p>バスについては当駅の系統にはバリアフリー対応車の導入がされており、その走行率も約60%である。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>					

京王富士見ヶ丘駅				
	乗降客数	14,193人	ホーム形式	地上 複線 島式 二線
	駅舎形式	地下改札口1箇所		
駅現況	昇降設備	スロープ(別乗降口)		
	その他の駅施設	改札(バリアフリー対応)		
駅周辺の状況	道路	<p>当駅周辺は、南北方向に環状八号線、未整備の都市計画道路補助第216号線、東西方向に井の頭通り、放射5号線、甲州街道の幹線道路に囲まれた中間に位置している。</p> <p>しかし、環状八号線の渋滞や、都市計画道路補助第216号線が未整備のため、駅付近の南北方向の富士見通りに通過交通が進入し、駅付近や踏み切りなどで、「交通量が多い」「道路や歩道が狭い」などの指摘がある。</p>		
	主要な公共施設	児童館、久我山小、富士見ヶ丘中		
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等			
バリアフリー計画	駅施設			
	道路			
	信号機			
まとめ	<p>駅舎については、現在スロープ設置のみであり、バリアフリー化されていない。</p> <p>今後、駅舎のバリアフリー化が重要であるが、駅スペースが狭いなど構造的に難しい。</p> <p>道路については、歩道未設置路線や歩行者と車両が転換する区間が多く、富士ヶ丘通りなど通行上支障がある道路が多い。南北道路の整備等が重要な地域である。</p>			

京王高井戸駅					
駅 現 況	乗 降 客 数	37,168人	ホーム形式	高架 複線 島式 二線	
	駅 舎 形 式	高架改札口1箇所			
	昇 降 設 備	車椅子対応エスカレーター：1基設置			
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応)： 設置			
駅周辺の状況	道 路	当駅周辺は、南北方向に環状八号線、東西方向に井の頭通り、放射5号線、甲州街道の幹線道路が走っており、環状八号線、井の頭通り及び人見街道などにはバス路線が通っている。 駅東側の環状八号線を横断する歩道橋が設置されているが、狭いので、バリアフリー対応となっていない。また、平面横断歩道は道路構造上設置できない状況であり、環状八号線の横断方向の通行に課題がある。			
	主要な公共施設	高齢者活動支援センター、高井戸地域区民センター、こども発達センター、高井戸保健センター、障害者福祉会館等			
	身体障害者対応信号機 設置箇所	設置箇所 高井戸東2 25先	設置道路 環状八号線	交差点名 高井戸駅南横断路	駅からの距離 約200m
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	当駅を発着する路線バスは、関東バス株の1社 2系統である。 この駅を発着する路線バス系統においては、現在のところバリアフリー対応車の走行はない。			
バリアフリー計画	駅 施 設				
	道 路				
	信 号 機				
ま と め	<p>駅舎については、現在でも車椅子対応エスカレーターの1基設置により一部バリアフリー化された駅舎である。</p> <p>今後、エレベーターや多目的トイレの設置等が実施されれば、バリアフリー化された駅舎となる。</p> <p>道路については、駅舎から主要公共施設への経路は概ね歩道が設置されているが、駅利用には環状八号線横断歩道橋を通ることになり、そのバリアフリー化が大きな課題である。身体障害者対応信号機も駅南側の横断歩道に設置されているが、駅から約200m離れているので不便さは否めない。</p> <p>バスについては、バリアフリー対応車の導入系統がない状況である。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>				

京王浜田山駅					
駅 現 況	乗 降 客 数	26,027人	ホーム形式	地上 複線 島式 二線	
	駅 舎 形 式	地下改札口1箇所			
	昇 降 設 備	エレベーター：2基設置（地上～地上改札～ホーム）			
	そ の 他 の 駅 施 設	改札（バリアフリー対応）： 設置（自動） 多 目 的 ト イ レ ： 設 置			
駅周辺の状況	道 路	当駅周辺の生活道路は、駅南・北側共に幅員4m以上の区画道路網が整備されているものの、南北に貫通するのは鎌倉街道の1経路であるため、鎌倉街道や浜田山駅周辺の浜田山通りなどには通過交通が進入し、「交通量が多い」「道路や歩道が狭い」などの指摘がある。			
	主要な公共施設	浜田山会館、在宅介護支援センター			
	身体障害者対応信号機 設置箇所	設置箇所	設置道路	交差点名	駅からの距離 信号機種類
		浜田山335先	井の頭通り	浜田山駅入口交差点	約480m 盲人用音声・弱者感应式信号機
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	当駅を発着する路線バスは、京王電鉄バス株の1社 1系統（すぎ丸）である。本系統では概ね30%がバリアフリー対応車で走行している。			
バリアフリー計画	駅 施 設	バリアフリー化完了			
	道 路				
	信 号 機				
ま と め	<p>駅舎についてはバリアフリー化されている。</p> <p>道路については、駅前がカラー舗装化されているが鎌倉街道は歩道未設置であり、歩行者と車両が幹線する区間が多く、通行上支障がある道路が多い状況である。</p> <p>身体障害者対応信号機は井の頭通りに設置されており、幹線道路への連絡はされている。</p> <p>駅南側地区においては、南北道路の整備等が重要な課題である。</p> <p>バスについては、当駅の系統にはバリアフリー対応車の導入がされており、またその走行率も約30%である。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇が期待される。</p>				

京王西永福駅					
駅 現 況	乗 降 客 数	18,844人	ホーム形式	地上 複線 島式 二線	
	駅 舎 形 式	地上改札口1箇所			
	昇 降 設 備				
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応): 設置			
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅周辺には井の頭通り、方南通りの幹線道路が走っている。 生活道路網は、土地区画整理事業の実施された永福3丁目地域は比較的整っているが、他の地域の道路はぜい弱である。 大規模施設や神田川などにより南北方向の道路網が分断されていることから南北に貫通する荒玉水道道路の交通量が多く、「交通量が多い」「道路や歩道が狭い」などの指摘がある。 平成14年度は永福三丁目地区内の区道160mについて段差改良を行った。</p>			
	主要な公共施設	永福体育館、永福図書館			
	誰でもトイレ設置箇所 (公衆便所)	設置場所	駅からの距離	公衆便所名	
		永福3 36 1	約20m	西永福公衆便所	
	身体障害者対応信号機 設置箇所	設置箇所	設置道路	交差点名	駅からの距離
	下高井戸3 12先	一般都道	下高井戸公園前交差点	約900m 永福町約970m 桜上水約400m	盲人用音声信号機
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等				
バリアフリー計画	駅 施 設				
	道 路	平成15年に、引き続き永福三丁目地区内の区道360mについて段差改良を行う。			
	信 号 機				
ま と め	<p>駅舎については、現在バリアフリー化はされていない。 今後、駅舎のバリアフリー化が重要であるが、駅スペースが狭いなど構造的に難しい。 道路については区画整理により整っている地区が多いが、南北道路は荒玉水道道路に集中し、歩道が未設置のため歩行者と車両が輻輳する区間が多く、通行上支障がある道路が多い状況である。南北道路の整備等が重要な地域である。</p>				

京王永福町駅					
駅 現 況	乗 降 客 数	29,987人	ホーム形式	地上 複線 島式 四線	
	駅 舎 形 式	地上改札口1箇所			
	昇 降 設 備				
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応): 設置			
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅周辺には、東西に井の頭通り、甲州街道、方南通りの幹線道路が走っており、南北に大円寺通りや都道(瀬田 貫井線)が走っている。</p> <p>なお、井の頭通り、方南通り、大円寺通りはバス路線である。</p> <p>生活道路網は、土地区画整理事業の実施された永福3丁目周辺が比較的整っており、東西方向には、4m以上の区画道路が通っている。南北方向の都市計画道路補助133号線が未整備であり大規模施設や神田川・玉川上水などにより南北方向の道路網が分断されていることから、荒玉水道道路や都道(瀬田貫井線)の南北に貫通する道路に通過交通が進入し、大宮小通りなどの道路で「交通量が多い」「道路が狭い」などの指摘がある。</p> <p>バリアフリー対策として、歩行者通行の安全を確保するため、大宮通りの路側帯に滑り止めカラー舗装を505.7㎡(大宮1-1~4先)行った。</p>			
	主要な公共施設	永福和泉地域区民センター、永福ふれあいの家			
	身体障害者対応信号機 設置箇所	設 置 箇 所	設 置 道 路	交 差 点 名	駅 からの 距 離
	下高井戸2-22先	一般都道	永福南小学校前横断路	約680m 下高井戸約420m	盲人用音声信号機
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	<p>当駅を発着する路線バスは、関東バス(株)、京王電鉄バス(株)、小田急バス(株)の3社6系統(2系統は共同運行)である。</p> <p>そのうち、バリアフリー対応車を導入している系統は6系統全てである。</p> <p>またバリアフリー対応車で走行率は、関東バス(株)・京王電鉄バス(株)の共同運行「宿02」系統、京王電鉄バス(株)の「鷹64」系統、小田急バス(株)の「宿44」系統が100%であり、その他系統も一部走行している。</p>			
バリアフリー計画	駅 施 設				
	道 路				
	信 号 機				
ま と め	<p>駅舎については、現在バリアフリー化されていない。</p> <p>今後、エレベーターや多目的トイレの設置等が実施されればバリアフリー化された駅舎となる。</p> <p>道路については、区画整理により整っている地区が多いが、南北道路の大円寺通りや都道(瀬田貫井線)に交通が集中し、歩道未設置部分や、歩行者と車両が輻輳する区間が多く、通行上支障がある道路が多い状況である。</p> <p>身体障害者対応信号機は、永福南小学校前に設置されている。</p> <p>南北道路の整備が重要な地域である。</p> <p>バスについては、6系統全てにおいて、バリアフリー対応車を導入している。また、バリアフリー車両での走行率は、関東バス(株)・京王電鉄バス(株)の共同運行「宿02」系統、京王電鉄バス(株)の「鷹64」系統、小田急バス(株)の「宿44」系統が100%であり、その他系統も一部走行している。</p> <p>今後、各バス会社のバリアフリー車両の導入により走行率が上昇される。</p>				

京王八幡山駅				
駅 現 況	乗 降 客 数	34,126人	ホーム形式	高架 複線 島式 二線
	駅 舎 形 式	地上改札口1箇所		
	昇 降 設 備	車椅子対応エスカレーター：1基設置		
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応)：設置 多 目 的 ト イ レ：設置		
駅周辺の状況	道 路	当駅周辺には、甲州街道や環状八号線の幹線道路があり、駅直近には、赤堤通りがある。赤堤通りは、歩道が設置された道路であり、歩行者の安全確保がされている。		
	主要な公共施設	上高井戸区民集会所、都立松沢病院		
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	当駅を発着する路線バスは、京王電鉄バス株の1社 1系統「八〇一」系統であり、バリアフリー対応車を導入している。 また、バリアフリー対応車での走行率は100%である。		
バリアフリー計画	駅 施 設			
	道 路			
	信 号 機			
ま と め	<p>駅舎については、現在でも車椅子対応エスカレーター1基と多目的トイレが設置され一部バリアフリー化された駅舎である。</p> <p>今後、エレベーターの設置等が実施されればバリアフリー化された駅舎となる。</p> <p>道路については、駅舎から主要公共施設への経路は概ね歩道設置がされており、バリアフリー化された経路が形成されている。</p> <p>バスについては、バリアフリー対応車を導入している。また、バリアフリー対応車での走行率は100%である。</p>			

菅田菟窪駅				
駅 現 況	乗 降 客 数	66,858人	ホーム形式	地下 複線 島式 二線
	駅 舎 形 式	地下改札口3箇所(1箇所:エレベーター直結)		
	昇 降 設 備	エレベーター:1基設置(地下改札~地下ホーム) エスカレーター:2基設置(上下専用:地下改札~地下ホーム)		
	そ の 他 の 駅 施 設	エスカレーター:1基設置(地上~地下改札) 改札(バリアフリー対応):設置(自動改札) 多目的トイレ:設置		
駅周辺の状況	道 路	JR 菟窪駅参照。		
	主要な公共施設	杉並保健所(菟窪保健センター、在宅介護支援センター含む)、杉並公会堂、西福祉事務所、杉並盲人会館、中央図書館等		
	誰でもトイレ設置箇所(公衆便所)	JR 菟窪駅参照。		
	身体障害者対応信号機設置箇所	JR 菟窪駅参照。		
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	JR 菟窪駅参照。		
バリアフリー計画	駅 施 設	改札より内は、バリアフリー化完了		
	道 路	JR 菟窪駅参照。		
	信 号 機	JR 菟窪駅参照。		
ま と め	<p>駅舎については、改札内はバリアフリー化されている。</p> <p>道路については、北口に幹線道路の青梅街道がある。また南口には都市計画道路補助第131号線があり整備中である。双方に人や車両の通行が多く、また放置自転車等の路上障害物も多く、歩行者の通行に支障をきたしている。今後、北口の駅前広場事業や、南口における平成16年度完了予定の南口エレベーターと西口連絡橋の整備によりバリアフリー対策は向上される。身体障害者対応信号機は北口の青梅街道や南口の環状八号線横断を中心に設置されており、幹線道路横断については経路の確保はなされている。</p> <p>バスについてはバリアフリー対応車の導入系統が三分の一にとどまり、またその走行率も約10~100%とばらつきがある。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>			

菅田南阿佐ヶ谷駅						
駅 現 況	乗 降 客 数	20,040人	ホーム形式	地下 複線 相対式 二線		
	駅 舎 形 式	地下改札口2箇所				
	昇 降 設 備	エレベーター：2基設置（地上～各改札）				
	そ の 他 の 駅 施 設	改札（バリアフリー対応）： 設置（自動改札）				
駅周辺の状況	道 路	当駅周辺の道路は、北へ中杉通り、東西に青梅街道など幹線道路が走っている。中杉通りのうち早稲田通り～青梅街道区間が、けやき並木道として整備されている。 また、旧中杉通りであるパールセンターは歩行者専用道であるが、商品のはみ出しや自転車の走行マナーの悪さなどの指摘がある。				
	主要な公共施設	杉並区役所、阿佐ヶ谷地域区民センター、消費者センター、産業商工会館、阿佐ヶ谷区民事務所、杉並警察署、都税事務所等				
	身体障害者対応信号機 設置箇所	設置箇所	設置道路	交差点名	駅からの距離	信号機種類
		成田東5 42先	青梅街道・中杉通り	杉並区役所前交差点	-	盲人用音声信号機
	阿佐谷南1 39先	中杉通り	阿佐谷南一丁目横断路	約250m	盲人用音声信号機	
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	/				
バリアフリー計画	駅 施 設	多目的トイレ未設置				
	道 路	概ねバリアフリー化されている。				
	信 号 機	概ね設置されている。				
ま と め	<p>駅舎については、多目的トイレの設置がされればバリアフリー化された駅舎となるが、駅スペースの課題により難しい状況である。</p> <p>道路については、駅舎から主要公共施設への経路は、概ね歩道設置がされている。</p> <p>また、現在中杉通りの歩道改修が終わり、南阿佐ヶ谷駅から阿佐ヶ谷駅への経路はバリアフリー化されている。</p> <p>身体障害者対応信号機も、阿佐ヶ谷駅・南阿佐ヶ谷駅周辺に設置されており、両駅間の移動経路は確保されている。</p>					

当駅新高円寺駅						
駅 現 況	乗 降 客 数	30,216人		ホーム形式	地下 複線 相対式 二線	
	駅 舎 形 式	地下改札口2箇所				
	昇 降 設 備					
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応): 設置 多 目 的 ト イ レ: 設置(池袋方面)				
駅周辺の状況	道 路	当駅周辺には、東西道路の青梅街道、南北道路の高南通り、五日市街道が走り、環状七号線、青梅街道等にアクセスするバス路線が形成されている。 交通規制が行われているルック商店街からパル商店街を経て JR 高円寺駅に至る、歩行系の道路が形成されている。				
	主要な公共施設	高円寺保健センター、セシオン杉並、社会教育センター、高円寺区民事務所				
	誰でもトイレ設置箇所 (公衆便所)	設置場所	駅からの距離		公衆便所名	
		堀ノ内3 48 12	約720m		妙法寺境内公衆便所	
	身体障害者対応信号機 設置箇所	設置箇所	設置道路	交差点名	駅からの距離	信号機種類
	高円寺南2 20先	青梅街道	新高円寺駅前交差点	-	盲人用音声信号機	
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	当駅を発着する路線バスは、都営バス、関東バス(株)と京王電鉄バス(株)の3社 9系統(3系統は共同運行)である。 その内、バリアフリー対応車を導入している系統は9系統全てである。 また、バリアフリー対応車ででの走行率は関東バス(株)・京王電鉄バス(株)共同運行の「高45」系統、関東バス(株)・京王電鉄バス(株)共同運行の「新02」系統が100%であり、その他系統も一部走行している。				
バリアフリー計画	駅 施 設	地上までのエレベーター設置用地の調査、検討中。				
	道 路	高南通り: 歩道改修等。 補助第226号線: 歩道拡幅・電線類の地中化等。 青梅街道: 段差・勾配の解消、点字ブロック等の設置。				
	信 号 機	高南通り、補助第226号線・青梅街道等の身体障害者対応信号機等の設置。				
ま と め	<p>駅舎については、現在多目的トイレの設置のみでバリアフリー化されていない駅舎である。今後エレベーターの設置等が行われればバリアフリー化された駅舎となるが、駅スペースの課題により難しい状況である。</p> <p>道路については、駅舎から主要公共施設への経路の、高南通り、青梅街道、五日市街道などで歩道設置がされている。またパル商店街、ルック商店街などは交通規制がされており、概ね移動経路は確保されていると考えられる。</p> <p>身体障害者対応信号機も駅直近に設置されているため、移動経路の課題は凹凸や段差の解消となる。</p> <p>高南通り、補助第226号線、青梅街道等には、歩道改修・電線類の地中化、段差の解消、身体障害者対応信号機等のバリアフリー施策を行う。</p> <p>バスについては、全ての系統においてバリアフリー対応車の導入がされているが、その走行率は約5～100%と幅がある。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>					

営団東高円寺駅					
駅 現 況	乗 降 客 数	30,449人	ホーム形式	地下 複線 相対式 二線	
	駅 舎 形 式	地下改札口2箇所			
	昇 降 設 備	エレベーター：1基設置（荻窪方面：地上～地下改札）			
	そ の 他 の 駅 施 設	改札（バリアフリー対応）： 設置			
駅周辺の状況	道 路	当駅周辺は東西方向の青梅街道、南北方向の環状七号線が通り、バス路線が形成されている。また、青梅街道には地下鉄丸ノ内線が通っている。しかし生活道路は全般的にせいで、妙法寺通りや帝釈天通りなどにおいて「交通量が多い」「道路が狭い」などの指摘がある。			
	主要な公共施設	セシオン杉並、社会教育センター、高円寺区民事務所、蚕糸の森公園、和田ふれあいの家			
	誰でもトイレ設置箇所（公衆便所）	設置場所	駅からの距離	公衆便所名	
		梅里 1 1 55	約450m	堀ノ内公衆便所	
	身体障害者対応信号機設置箇所	設置箇所	設置道路	交差点名	駅からの距離
高円寺南1 11先		環状七号線・青梅街道	高円寺陸橋下交差点	約220m	盲人用音声信号機
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	当駅を発着する路線バスは、都営バスと関東バス(株)との2社4系統である。そのうち、バリアフリー対応車を導入している系統は4系統全てである。今後、各バス会社のバリアフリー対応車の導入により、上記の走行率が上昇される。			
バリアフリー計画	駅 施 設	地上までのエレベーター設置用地の調査、検討中。			
	道 路	高南通り：歩道改修等。 青梅街道・環状七号線：段差・勾配の解消、視覚障害者誘導用ブロック等の設置。			
	信 号 機	高南通り、補助第226号線・青梅街道等の身体障害者対応信号機等の設置。			
ま と め	<p>駅舎については、現在エレベーターの1基設置（荻窪方面）のみで、バリアフリー化されていない駅舎である。今後新宿方面のエレベーターの設置や多目的トイレ等の設置が行われればバリアフリー化された駅舎となるが、駅スペースの課題により難しい状況である。</p> <p>道路については、駅舎から主要公共施設への経路である青梅街道、環状七号線などで歩道設置がされている。身体障害者対応信号機も、青梅街道と環状七号線の交差点に設置されており、概ねの移動経路は確保されている。ただし、後背地の生活道路はせいで、妙正寺通りや帝釈天通りなどで歩行者と車両が輻輳する状況にある。高南通り、補助第226号線、青梅街道等には歩道改修・電線類の地中化、段差の解消、身体障害者対応信号機設置等のバリアフリー施策を行う。</p> <p>バスについては、全ての系統においてバリアフリー対応車の導入がされているが、その走行率は一割にも満たない。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>				

嘗田方南町駅					
駅 現 況	乗 降 客 数	31,281人	ホーム形式	地下 複線 島式 二線	
	駅 舎 形 式	地下改札口2箇所			
	昇 降 設 備				
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応): 設置			
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅周辺は南北に環状七号線、東西の方南通りの幹線道路が走っており、バス路線となっている。</p> <p>生活道路網は、善福寺川流域の土地区画整理事業実施区域や和泉3丁目周辺を除くと全般的にせい弱であり、特に和泉1丁目・方南1丁目周辺では狭あい道路が多く、善福寺川流域の周辺では道路基盤が未形成な区域が多くなっている。</p> <p>こうした中、幅員の狭い生活道路に通過交通が進入し、方南小南通りなどで「交通量が多い」「道路が狭い」などの指摘がある。</p>			
	主要な公共施設	方南会館、在宅介護支援センター			
	身体障害者対応信号機 設置箇所	設置箇所	設置道路	交差点名	駅からの距離
	堀ノ内2 11先	環状七号線	大聖堂入口交差点	約450m	盲人用音声信号機
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等				
バリアフリー計画	駅 施 設	地上までのエレベーター設置用地の調査、検討中。			
	道 路				
	信 号 機				
ま と め	<p>駅舎については、現在バリアフリー化されていない。今後エレベーターや多目的トイレの設置等が行われればバリアフリー化された駅舎となる。</p> <p>しかし、駅が深いため、エレベーターの設置が重要課題である。</p> <p>現在、方南通り側及び環状七号線側のエレベーター用地を調査検討中。</p> <p>道路については、主要な幹線である方南通りや環状七号線などで歩道設置がされている。</p> <p>身体障害者対応信号機も、環状七号線の「大聖堂入口」に設置されており、概ねの移動経路は確保されている。</p> <p>ただし、後背地の生活道路はせい弱で、方南小南通りなどで歩行者と車両が輻輳する状況にある。</p>				

西武上井草駅				
駅 現 況	乗 降 客 数	20,846人	ホーム形式	地上 複線 相対式 二線
	駅 舎 形 式	地上改札口2箇所		
	昇 降 設 備	スロープ： 設置		
	そ の 他 の 駅 施 設	改札（バリアフリー対応）： 設置（自動）		
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅周辺は、千川通りなどの幹線道路が走っている。</p> <p>また、土地区画整理事業が実施されたことから、幅員4m以上の生活道路網が形成されている。</p> <p>これらの生活道路は概ね一方通行規制がなされ、幅員の比較的広い道路については歩道や歩行帯が設置されている。</p> <p>ただ、駅に結末する南北道路は歩車道が分離されておらず、バス路線でもあり、交通安全上支障がある。</p>		
	主要な公共施設	上井草ふれあいの家、特養老人ホーム上井草園、在宅介護支援センター、上井草スポーツセンター		
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	<p>当駅を発着する路線バスは、西武バス(株)の1社 3系統である。</p> <p>そのうち、バリアフリー対応車を導入している系統は3系統全てである。</p> <p>また、バリアフリー対応車での走行率は「荻15」・「荻16」系統が100%であり、その他一系統も一部走行している。</p>		
バリアフリー計画	駅 施 設			
	道 路			
	信 号 機			
ま と め	<p>駅舎については、上下線ホームとも改札とホームの高低差にはスロープが設置され一部バリアフリー化された駅である。今後多目的トイレが設置されれば、バリアフリー化された駅舎となる。</p> <p>道路については、土地区画整理事業が実施されたことから、幅員4m以上の生活道路網が形成されている。しかし、駅直近の道路はバス路線であり、かつ歩車道が分離されていないなど課題がある。</p> <p>バスについては、全ての系統においてバリアフリー対応車の導入がされているが、その走行率は約40～100%である。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇が期待される。</p>			

西武井荻駅				
駅 現 況	乗 降 客 数	18,809人	ホーム形式	地上 複線 相対式 三線
	駅 舎 形 式	地上改札口2箇所		
	昇 降 設 備	ス ロ ー プ： 設置(改札~ホーム) エレベーター： 設置(対面ホーム連絡跨線橋) エスカレーター： 各ホーム1基設置(対面ホーム連絡跨線橋)		
	そ の 他 の 駅 施 設	改札(バリアフリー対応)： 設置(自動) 多 目 的 ト イ レ： 設置(新宿方面)		
駅周辺の状況	道 路	当駅周辺は環状八号線や新青梅街道などの幹線道路が東西南北に走っている。 また、土地区画整理事業が実施されたことから、幅員4m以上の生活道路網が形成されている。 これらの生活道路は概ね一方通行規制がなされ、幅員の比較的広い道路については歩行帯が設置されている。		
	主要な公共施設	井草地域区民センター		
	誰でもトイレ設置箇所 (公衆便所)	設置場所	駅からの距離	公衆便所名
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	清水3 21 21	約870m	妙正寺公園公衆便所
		当駅を発着する路線バスは、関東バス(株)と西武バス(株)の2社 3系統(2系統は共同運行)である。 この駅を発着する路線バス系統においては、現在のところバリアフリー対応車の走行はない。		
バリアフリー計画	駅 施 設			
	道 路			
	信 号 機			
ま と め	<p>駅舎については、エレベーターやエスカレーター、多目的トイレが設置されており、バリアフリー化された駅舎である。</p> <p>道路については、環状八号線や新青梅街道などの幹線道路に歩車道分離がされており、また、土地区画整理事業が実施されたことから幅員4m以上の生活道路網が形成され、概ね一方通行規制がなされ幅員の比較的広い道路については歩道や歩行帯が設置されている。</p> <p>駅南北通路もエスカレーター設置によりバリアフリー化されている。</p> <p>バスについては、バリアフリー対応車の導入系統がない状況である。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>			

西武下井草駅				
駅 現 況	乗 降 客 数	24,098人	ホーム形式	地上 複線 相対式 二線
	駅 舎 形 式	地上改札口1箇所(対面ホームへは、跨線橋にて連絡)		
	昇 降 設 備	ス ロ ー プ： 設置(改札~田無方面ホーム) 改札(バリアフリー対応)： 設置(自動)		
	そ の 他 の 駅 施 設			
駅周辺の状況	道 路	<p>当駅周辺には新青梅街道、旧早稲田通りの幹線道路が走っている。</p> <p>また、土地区画整理事業が実施されたことから、幅員4m以上の生活道路網が形成されており、特に幅員6.5m以上の主要区画道路網が有効に形成されている。</p> <p>道路網は概ね一方通行規制がなされ、新青梅街道の北側では生活ゾーン規制(居住者以外の車両進入禁止)がなされている。</p> <p>幅員の比較的広い道路については歩行帯が設置されているが、環状八号線の渋滞などにより、特に旧早稲田通りはバス通りとなっていることから通過交通が多い。</p> <p>また、駅付近においては、安全な歩行者空間が未整備なことから危険などの指摘がある。</p>		
	近隣の公共施設	八成区民集会所、下井草図書館		
駅乗り入れバス路線	現況路線及びバリアフリー対応車走行状況等	<p>当駅を発着する路線バスは、関東バス株の1社 3系統である。</p> <p>この駅を発着する路線バス系統においては、現在のところバリアフリー対応車の走行はない。</p>		
バリアフリー計画	駅 施 設	エレベーター、エスカレーター設置予定 予定期間：平成18年度を目途に調整中。		
	南北アクセス	橋上駅舎に改修し、北口・南口にエレベーター、エスカレーター設置予定 予定期間：平成18年度を目途に調整中。		
	信 号 機			
ま と め	<p>駅舎については、今後、駅の橋上化工事によりエレベーターやエスカレーターの設置が予定されており、実施後、バリアフリー化された駅舎となる。</p> <p>道路については、旧早稲田通りにおいて歩車道が分離されているが、歩道幅員が1m未満と狭い。南側地区は、住宅地にある幅員4m以上の生活道路網等が整備されている。</p> <p>北側地区の旧早稲田通りは、歩車道分離がされておらず、また、バス通りとなっているとともに通過交通が多い。また、駅付近においては、安全な歩行者空間が未整備であり、課題が多い。</p> <p>バスについては、バリアフリー対応車の導入系統がない状況である。今後、バリアフリー対応車の導入により、走行率は上昇すると考えられる。</p>			